



# GOGO 宮崎労働局

発行：宮崎労働局  
宮崎市橘通東3-1-22  
宮崎合同庁舎  
TEL0985(38)8821  
FAX0985(38)5028

県内で

## 就職目指す高校生を応援

### みやざき就職フェア2019開催

採用担当者や面接する求職者



県内企業23社のブースにおいて熱心に相談していました。

今回は、面談会開始前に若者の地元定着支援及び求人の方策を目的とした企業魅力発信のためのプレゼンを実施し、各企業の熱のこもったプレゼンを生徒は真剣なまなざしで聞いていました。

参加した生徒からは、「住み慣れた環境で仕事をしたい」「生まれ育った宮崎を盛り上げたい」といった声が聞かれました。企業と生徒にとって、実りあるイベントとなった模様です。引き続き、県内の各ハローワークでは、来春の就職を目指す高校生に対し、きめ細やかな就職支援を行います。

10月29日にハローワーク宮崎は、高校生等に対する就職面談会（みやざき就職フェア2019）を宮崎公立大学にて宮崎市との共催で開催しました。県内高校14校、58名の生徒が来春の就職を目指し、

## 宮崎県産業安全衛生大会

### 安全安心な職場づくりを

11月13日、令和元年度宮崎県産業安全衛生大会が宮崎市で開催されました。出席した名田労働局長は挨拶で「県内で死傷災害が増加傾向にあり、特に転倒災害と高齢者の災害が増えてきています」と現状を指摘し、「これからの少子高齢化社会で人手不足が加速していく環境を考えますと、これらの災害をなくしていくことが非常に重要な課題となっています」と訴えました。

挨拶する名田局長



説明する丸山雇用環境・均等室長（左）とマスコット（右）

## 宮大生労働法を学ぶ

### 労働局や監督官のリアルな仕事を知る



宮崎労働局は、11月12日に宮崎大学で労働法制講話を実施し、労働法を学ぶ地域資源創成学部等の約60名の学生が受講しました。

アルバイトで起こりがちなトラブルを防止するために必要な注意点について、マンガを用いた寸劇

で分かりやすく述べ、職場におけるトラブルについても実例を交えながら説明しました。また、労働基準監督署やハローワークの仕事について身近に感じてもらおうと、それぞれ若手職員から実体験をもとに仕事内容や研修等について語りました。その中で、労働基準監督官が使用するグッズ（防塵マスクや安全帯など）を実際に着用して紹介したり、学生たちにも直接触ってもらったりしました。

講義後に学生からは、「アルバイトの労働条件について確認してみる」といった声が聞かれました。

宮崎県民の皆様  
よろしくお願ひします



名田 裕 新局長

11月7日付で宮崎労働局長に就任した名田 裕です。労働局の勤務は、滋賀、大阪、千葉に続いて4度目になりますが、九州は初めてで、小職がかつて勤務したことのある南米パラグアイを彷彿とさせる亜熱帯の雰囲気的魅力を感じています。

人手不足状況が続く中で、宮崎県では若者の流出も大きな課題で、働き方改革を通じた魅力的な職場づくりが、宮崎県の魅力づくりに直結するものと確信しています。

官民の関係者の方々としっかり連携しながら、地域における総合的労働行政機関として施策の推進に努めてまいります。



# 仕事の中身を“見える化”

## 日新興業株式会社 ベストプラクティス企業訪問



説明を受ける名田局長（左）



11月14日、名田労働局長は、「過重労働解消キャンペーン」の一環として、長時間労働削減に積極的に取り組んでいる延岡市の日新興業株式会社を訪問しました。

同社では毎週水曜日をノー残業デーに設定しているほか、労働者個人毎の残業時間を日々管理し、ひと月の残業時間目標までのカウントダウンをメールで知らせ、注意を促しています。また、携帯用パソコンやスマートフォンを労働

者に支給し、現場と本社間でデータのやり取りをすることで業務の効率化を図り、建設現場からの直行直帰も可能となっています。これらの取組により、同社での時間外労働の削減は確実に進んでいるとのことです。

なお、同社は昨年、県内の建設業では初めての「くるみん認定」（子育てサポート企業として厚生労働大臣が認定するもの）を受けています。

# 障害者雇用促進セミナーを開催

11月13日、宮崎労働局は宮崎市にて、令和元年度第1回「障害者雇用促進セミナー」を開催しました。今回は長きにわたり障害者雇用に積極的に取り組まれ、11名が活躍している株式会社宮崎観光ホテル（宮崎市）から講演をいただきました。

同社では、障害種別ごとの作業環境の配慮や仕事の切り出し等により、障害者が力になっているとのこと。43名の参加があり、参加した企業からは「参加にしたい」との感想が寄せられました。



## 健康で充実して 過労死等防止対策推進シンポジウム開催

# 働き続けることのできる社会へ

11月13日、宮崎市にて、過労死等防止対策推進シンポジウムが開催されました。鈴木聡労働基準部長は

主催者として、過労死等の労災認定状況を踏まえ、過労死等の防止は労働局の最重要課題であることを説明しました。

基調講演では、大原記念労働科学研究所の佐々木司上席主任研究員が睡眠衛生学の見地から、「疲労は睡眠だけでなく“遊び”によるストレス解消が重要。勤務間インターバルは有効な手法です」と訴えました。

説明する鈴木労働基準部長



# 介護就職デイトに就職面談会

採用担当者とは面談する求職者



11月11日の介護の日を中心とした前後2週間を「福祉人材確保重点実施期間」とし、厚生労働省、関係団体等が連携して啓発活動等を実施しています。

11月13日、ハローワーク宮崎は宮崎市と共催により宮崎市にて「介護就職デイト・就職面談会」を開催し、介護関係事業所20社と63名の求職者が面談しました。参加した事業所担当者から「この機会に介護の仕事を知ってもらい、一人でも多くの方に応募してほしい」との感想が寄せられました。

南日本ハムの児玉取締役（右）に要請する丸山雇用環境部長（左）



# 働き方改革 企業訪問

## 南日本ハム株式会社 株式会社九南

県内企業の「働き方改革」を推進するため、宮崎労働局は10月31日に南日本ハム株式会社（日向市）、11月8日に株式会社九南（都城市）を訪問し、それぞれの取組を伺いました。

南日本ハムの児玉取締役からは「年3日のメモリアル休暇を設けて、有給休暇の取得促進を図っています」。また、九南の永石取締役からは「週2日のノー残業デーを設定し、時間外労働の縮減に努めています」とそれぞれ説明がありました。

宮崎労働局からは、更なる取組の推進をお願いするとともに、下請け等の「しわ寄せ」防止についても要請しました。

九南の永石取締役（右）に要請する丸山雇用環境部長（左）

